

2011年度

事業計画書

自 2011年9月29日

至 2012年3月31日

一般財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構

## 2011年度事業計画

(2011年9月29日～2012年3月31日)

2011年9月29日、一般財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構（関西地域振興財団）が発足し、活動を開始した。

当法人は、従来から財団法人大阪湾ベイエリア開発推進機構（ベイ機構）として取り組んできた大阪湾ベイエリアの開発に関する調査研究等事業に加え、関西広域機構が実施してきた国際観光、文化振興、情報発信に関する事業を継承し、更に幅広い活動を展開する一般財団法人として新たに出発したものである。

当法人の目的は、「関西地域を先導する大阪湾岸地域の一体的利用推進に関する事業及び関西地域の広域的課題解決と新たな関西の創造に資する事業を行うことにより、多様な個性を有する関西地域の総合力を引き出し、地域社会の発展に寄与すること」である。（当法人定款より）

当法人は上記の目的を達成するため、主として次の2つの事業に関西地域において行う。

- (1) 大阪湾ベイエリアの開発に係る調査研究等事業
- (2) 関西地域に係る地域振興事業

ベイ機構の設立から20周年を迎える本年、当法人は、世界都市にふさわしい活力と魅力ある大阪湾ベイエリアを創造するとともに、多様な個性を有する関西地域の総合力を引き出し、世界に誇れる魅力ある関西の創造に取り組んでいく。

2011年度においては、大阪湾ベイエリアの開発に係る調査研究等事業では、2010年度からの取組である「大阪湾ベイエリアの将来像を探る研究会」活動の継続実施、「なぎさ海道」推進事業、及びこれらの広報活動に取り組む。関西地域に係る地域振興事業では、関西広域機構の事業計画を踏襲し、官民の連携により、国際観光、文化振興、情報発信の各事業に取り組む。

### I 大阪湾ベイエリアの開発に係る調査研究等事業

#### 1 調査研究事業

大阪湾ベイエリアを中心とした関西全域に係る社会基盤の整備や都市機能の強化に係る分野について、自主調査研究を行う。

- ① 「大阪湾ベイエリアの戦略的な将来像を探る研究会」活動の継続実施

大阪湾ベイエリアの将来像について主として産業集積のあり方の視点から検討し、2年間の取組みの成果として提言にまとめる。

- ② 学識者等の講演会や現地視察会事業の実施

## 2 「なぎさ海道」推進事業

人と海が豊かに触れ合う魅力ある海辺空間の象徴である「なぎさ海道」の実現を目指し、以下の活動を行う。

- ① 「なぎさ海道」推進会議の運営ならびに登録資源管理
- ② 「なぎさ海道」登録資源の普及啓発活動
- ③ 「なぎさ海道」ウォーク等の実施を通じた市民が海辺に親しみ海辺の魅力を発見する機会の提供
- ④ その他イベント等における広報活動の実施

## 3 広報事業

大阪湾ベイエリアの開発整備等に関する総合的な情報提供を行うためホームページを活用するとともに、その他イベント等において広報活動に努める。

# II 関西地域に係る地域振興事業

## 1 国際観光事業

インバウンド事業は、国際交流や地域の活性化に資するとともに、裾野の広い関連産業の発展をもたらす等、大きな経済効果が見込まれる。しかしながら、こうした訪日外客誘致を取り巻く環境は、世界有力国との競合状況にありかつ、国内でも外客争奪の状況にある。関西として「従来以上の積極的な取組」が必要との認識から、競争に打ち勝つインバウンドを目指し、国・自治体・経済団体との連携を一層緊密にして、事業に取り組む。

### (1) マーケティングの推進

- ① 関西プロモーションオフィス(KPO)からの定期レポート、エージェントへの直接ヒアリング等を通じ市場、商品動向等の情報を収集・分析し、その成果を関係先に還元する。
- ② KPO以外にも、日本政府観光局(JNTO)等との海外ネットワークを活用し、情報交換を密に行う。

## (2) 商品造成促進

各市場の状況に即した、商品造成に役立つ情報の発信や自治体・経済団体と連携したプロモーションを行う。

- ① 観光情報の発信の充実
  - ・観光Webサイトの充実
  - ・関西を紹介するDVD等、新たな観光資料の作成
  - ・ソーシャル・ネットワーク・システム（SNS）への対応
  - ・機内誌や車内誌における関西の観光情報発信
- ② 観光セミナー、商談会の開催（東南アジアを対象）
- ③ メディアを対象としたファムトリップ等
  - ・タイ、中国、欧米から波及効果の高いメディアを招請
- ④ 教育旅行の促進
  - ・中国において教育旅行に係る観光セミナーを開催するとともに、関係者を対象としたファムトリップを実施
- ⑤ ユースツーリズムの推進
  - ・産学官が連携した台湾と関西の大学生の交流
- ⑥ ファムトリップのフォローアップ

## 2 文化振興事業

関西地域の風格を高め、その魅力を域内外に広めるため、文化に身近に触れられる環境づくりを進めるとともに、関西から個性豊かで質の高い文化の発信を強化する。

### (1) 関西文化の日

関西2府8県内の美術館・博物館などの文化施設において、関西圏域内の方々に広く美術作品や学術資料に接する機会を提供し、美術・学術愛好者の増大を図るとともに、圏域外に向けても、文化が息づく関西を広く、かつ強くアピールし、圏域への集客を図ることを目的として、趣旨に賛同する参加施設の協力により実施する。

11月19日（土）及び20日（日）の2日間を中心とする11月中に、各参加施設が無料開館日を設定し、集中的にキャンペーンを行う。

### (2) 関西元気文化圏

「文化」で関西から日本を元気にすることをめざす「関西元気文化圏」構想を推進する「関西元気文化圏推進協議会」の事務局として、毎年関西から

日本を元気にすることに貢献した人・団体に「関西元気文化圏賞」を贈呈する。また、関西から文化活動の充実や、文化圏の一体感を醸成するため、共通のロゴマークを使用し、関西元気文化圏事業として文化庁の管理するHPへの登録、情報発信を支援するなど、関西の文化力を高める取組を広く積極的にアピールし、「関西元気文化圏」をさらに盛り上げていく。

### 3 情報発信事業

#### (1) Web サイト「Kansai Window」による情報発信

関西についての総合的な情報を全国・海外に発信することで、観光、歴史、文化、産業等の発展に繋げる。そのため、コンテンツの充実と共に、柔軟性をもった Web システムの構築を図る。

関西の様々なトピック・イベント等を掲載する「KIPPO NEWS」を Web サイトへ 1 本化し、毎月更新する。

#### (2) 外国特派員プレスツアー等取材支援

在京の外国特派員を関西に招聘し、関西の歴史・文化、経済・産業、大規模プロジェクトなどについて直接取材する機会を提供し、外国メディアによる取材記事発信を通じて海外への情報発信の強化を図る。

2011 年度においても、構成団体等との連携のもと、外国メディアが関心を寄せる関西特有のトピックスを発掘・紹介し、外国特派員による質の高い報道につなげる。

また、外国メディアの関西での取材活動に関して、取材アポイントメントなどのサポート、資料の提供、現地までの交通機関の紹介等のサポートを行う。